

自己点検・評価シート

整理No.	1-(2)-②	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保護・整備事業 (旧美敷水源地)	所属名 教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ
	施策	1202	文化財の保存・活用

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	重要文化財旧美敷水源地水道施設
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	建造物の保存修理と環境整備を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	<ul style="list-style-type: none"> ・調査工事 ・特別公開の実施 ・建造物保護覆屋設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査工事 ・特別公開の実施 ・建造物保護覆屋設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・修理工事 ・保存活用計画策定 ・特別公開の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・修理工事 ・整備工事 ・特別公開の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・修理工事 ・整備工事 ・特別公開の実施 	
	年度別実績	<ul style="list-style-type: none"> ・調査工事 (建造物、地盤、橋梁) ・特別公開の実施 ・建造物保護覆屋設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査工事 ・特別公開の実施 ・建造物保護覆屋設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・修理工事 ・保存管理計画策定 ・特別公開の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・修理工事 ・整備工事 ・特別公開の実施 	/	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	17,187	25,633	17,965	29,989	17,965	
	直接経費 A	11,939	20,435	12,865	29,989	43,288	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,406	12,556	7,473	18,719	28,859
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,533	7,879	5,392	11,270	14,429	
人件費 B	5,248	5,198	5,100	5,286	5,250		
職員数の内訳	正規職員	0.70	0.70	0.70	0.70	/	
	嘱託職員					/	
	臨時職員					/	

4. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 事業の概要 旧美敷水源地水道施設は、鳥取市の水がめとして大正から昭和にかけて60年にわたって使用された水道施設で、かつての上水道施設のありようを伝える貴重な近代化遺産として、平成19年6月に国の重要文化財に指定された。これを受け「旧美敷水源地水道施設保存整備基本計画」を策定、この計画に基づき、平成20年度から長期的視点に立った保存整備を行っている。この事業の実施により、旧美敷水源地水道施設を市民の誇りとなる遺産として将来にわたって伝えていく。</p> <p>2 事業の成果 平成26年度は (1) 国庫補助事業により、建造物保存修復工事・活用整備工事を実施(～29年度) (3) 利活用事業として特別公開を実施 (4) 市民と専門家からなる保存整備検討委員会及び建造物保存修復検討部会を開催 (5) 「全国近代化遺産活用連絡協議会」への参加</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	美敷水源地の調査工事の進捗率	%	目標	40	100	-	-	-
				実績	40	100	-	-	-
	(指標の説明)								
	2	美敷水源地の修理工事の進捗率	%	目標			30	40	60
実績						30	40		
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	美敷水源地の調査工事の進捗率	%	100%	100%	-	-	-
	2	美敷水源地の修理工事の進捗率	%	-	-	100%	100%	

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	国指定の重要文化財であり、所有者として市が主体的に整備・保存し、市民の活用に供する必要がある。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	システム全体が残る水道施設として全国的にも貴重な文化財だが、経年劣化が見られ、活用のためには保存修理の実施が不可欠である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	他に類例のない文化財建造物の修理事業であり、文化庁・国内の専門家の協力のもと、効率的に事業は進んでいる。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全国的に価値のある文化財として、整備・活用の効果は広範囲にわたる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	平成29年度完了を目的に、修理工事以外の環境整備を含め、円滑な事業の進捗を図る。	
今後の課題・方向性	保存整備基本計画に基づき、着実に事業を推進し、平成30年度の公開を目指す（補助金は国1/2、県1/6）。 公開後の管理を地元中心で行うための組織の確立と、効率的な情報発信・活用の推進が課題である（サイクリングコース等としての活用等は行われている）。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	平成30年度からの施設の公開を目指して確実に事業を進めることを望む。施設公開にあたっては情報発信・活用に工夫するとともに、施設のしっかりした管理運営体制の構築に努めてほしい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	文化財としての整備は長期的な計画に基づいて実施されている。文化財の保存整備が中心となる事業であるが、事業完了後の活用に向けた準備や地域の体制づくりが進められており、評価できる。
--------	--